

三寒四温。今冬、とても厳しい寒気に包まれた棚田も、ホッと一息ついた。久しぶりに会わず顔・顔、いつだって今が旬の仲間たち、笑顔・笑いは活力の源泉でもある。

今年の恵方は南南東、高山がその方位に当たるから嬉しい。行く足は吉。

昨年の12月、高山の棚田は優しく眠りについた。それに合せて協力隊の活動も冬籠りをしてしまったか…！！



3月2日 いざ出陣！今年も棚田で飛び跳ねよう。意気軒昂に7名が飛び出した。足元から土の匂いが立ち込めてくる。光のつぶが降り注ぐ、ごんた石を掘り起こし畝立てをする。なまった身体には適度の刺激、超痛快！！自然の中で時を忘れて悠々のひととき、最高の舞台環境である。

高山右近の謎（ロマン）ある「金の鳥」伝説は骨と皮となっている。金の鳥は正月元旦の明朝、悲しそうに鳴くと言う。その鳥はこの辺りの石室に埋めたといわれている。400年前へタイムトラベルできる棚田…今、語る人は少ない。右近の風吹く”右近の郷”農のふるさと協力隊から、折々の出来事も奮闘記で紹介していきます。



右近の埋蔵金探しに！金の鳥が埋まっているかも…。ものみな目覚める弥生三月。



凍てつく大地に霜柱ができる。霜柱を踏む体験をしたく棚田に立つ。体験して始めて納得、霜柱の美しさに感動する。

（棚田の全風景）



タマネギは順調に生育！

大きく育ちますように…マルチで保温